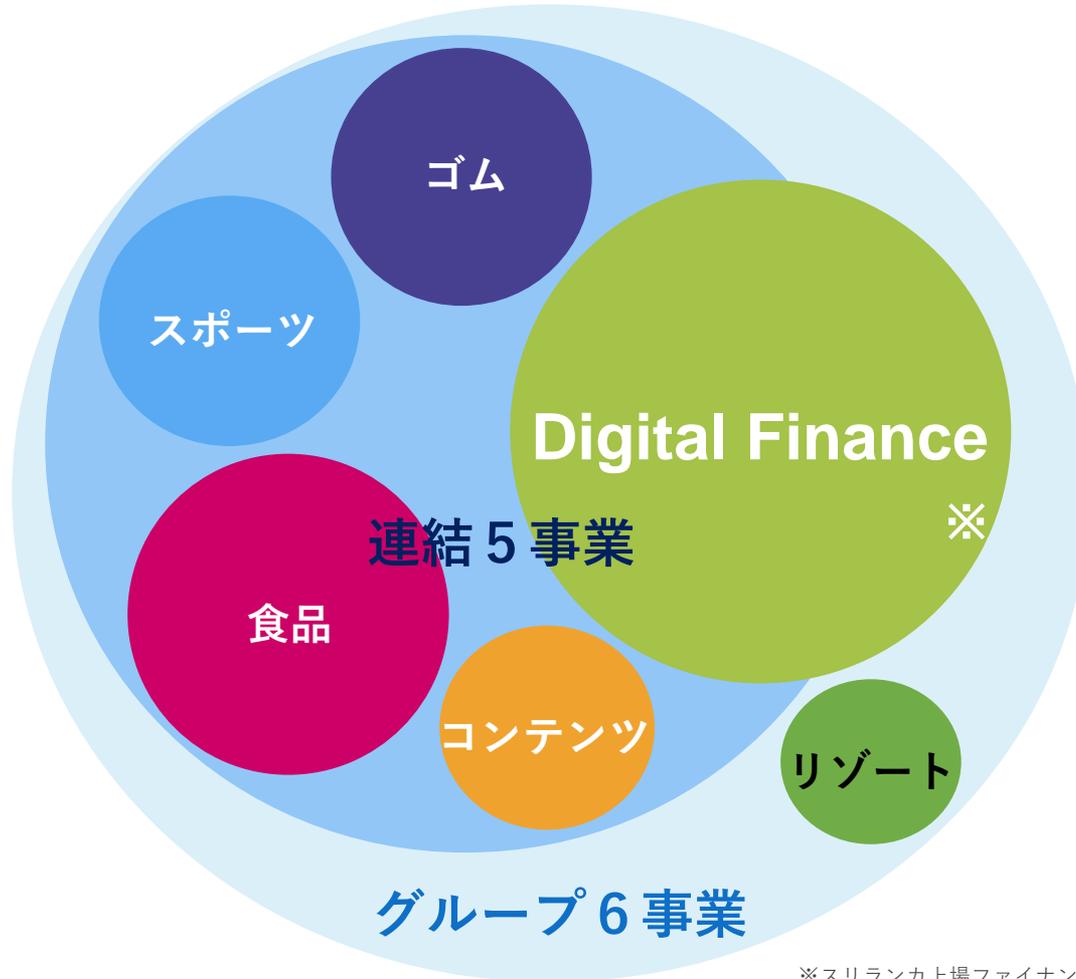




昭和ホールディングス株式会社

事業説明会

2020年7月27日



グループ各事業の概況と 新型コロナウイルス感染拡大に おける影響と対策

マイナス要因

- ① 最も規模の大きいDigital Finance事業が昨年8月まで法務リスクに備えての貸出抑制に伴う売上減
- ② 裁判費用が利益を押し下げた (Digital Finance)

中立要因

- ③ スポーツ事業の2017年からの低迷
- ④ ゴム事業の継続的な低迷

プラス要因

- ⑤ Digital Finance事業の事業効率化による事業経費減
- ⑥ 食品事業の利益増加
- ⑦ コンテンツ事業の業績改善

第4四半期における新型コロナウイルスの影響 - 事業ごとに影響が異なり一定のリスクヘッジ

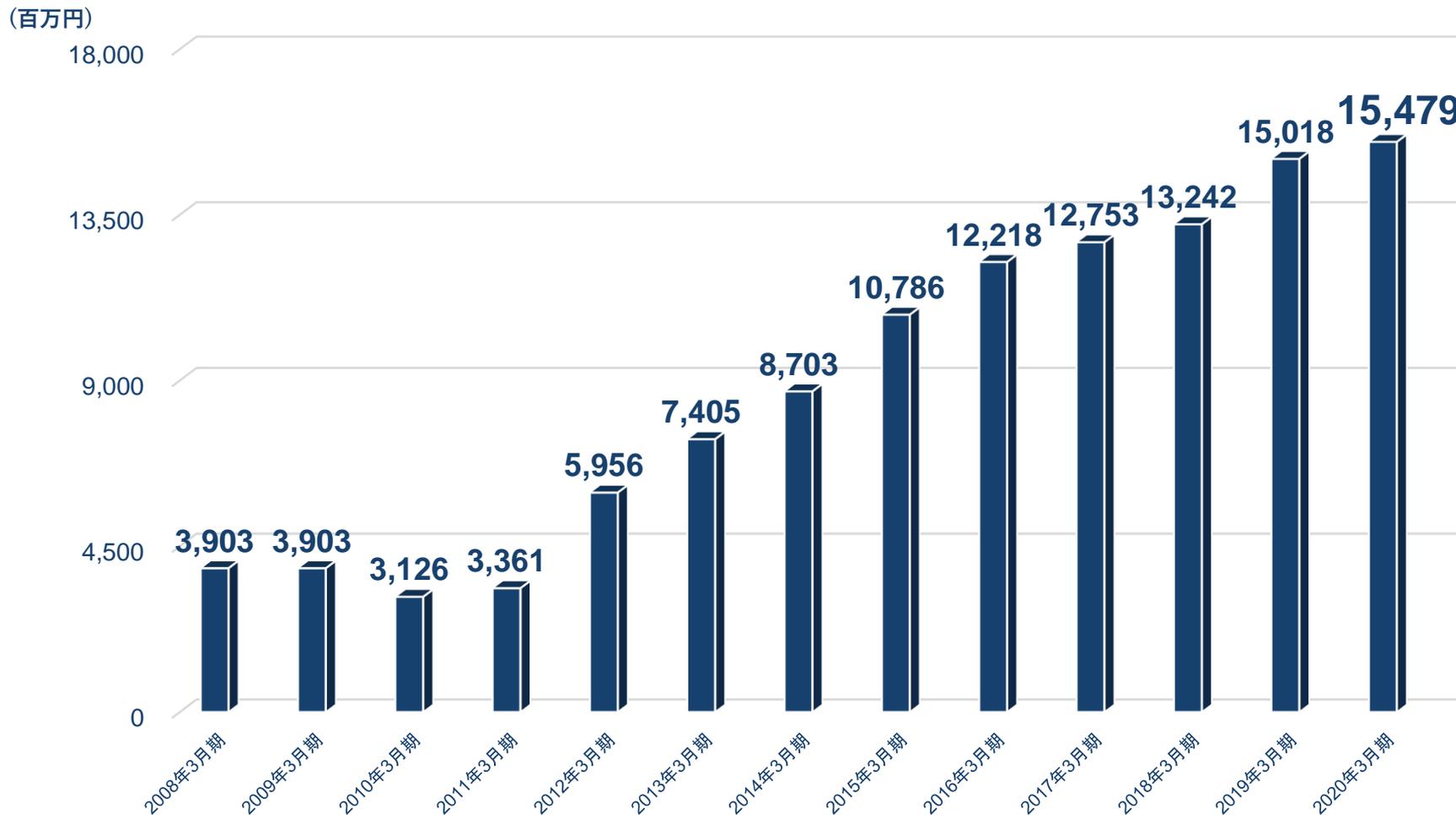
新型コロナウイルス感染拡大防止のための各国の政策により、

- ① **Digital Finance事業**：ロックダウンによる事業活動制限・
今後の不良債権増へ対コロナ特別引当金約2.9億円計上
- ② **スポーツ事業**：自粛・学校閉鎖による売上急減
- ③ **食品事業**：売上減・利益改善活動効果がこれを上回る
- ④ **コンテンツ事業**：従来よりリモート対応済み・事業活動
影響なし
- ⑤ **ゴム事業**：影響なし

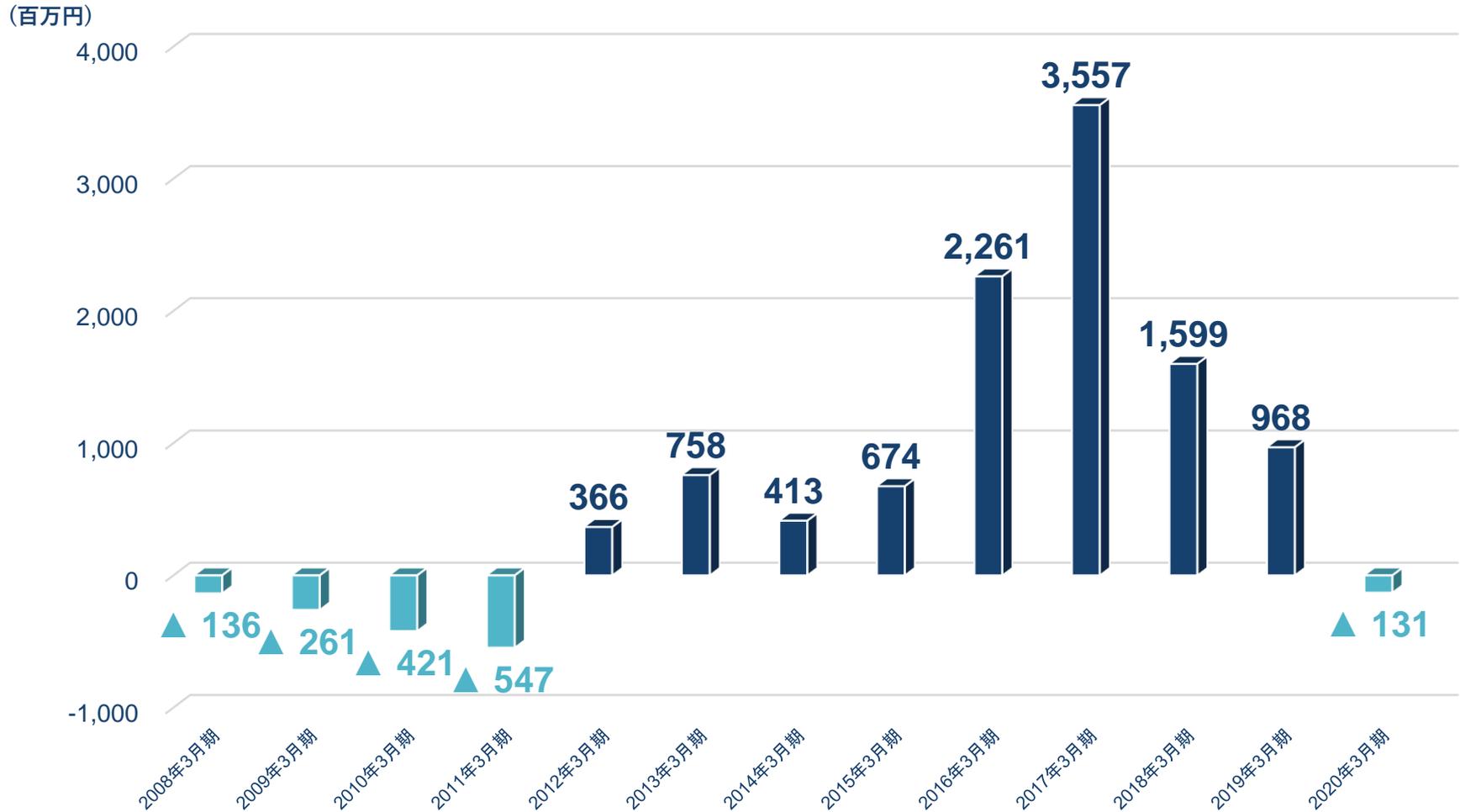
今後の見通し - 7~9月期から回復が可能と見通す

- ① **Digital Finance事業**：想定より債権回収進む、営業活動再開済み
- ② **食品事業**：利益増が継続
- ③ **ゴム事業**：景気後退影響懸念・競合撤退による売上増見込
- ④ **スポーツ事業**：6月から回復明確
- ⑤ **コンテンツ事業**：第1四半期はプロジェクト遅延あり・取扱コンテンツ好調によりその後回復見込み

連結売上高



連結営業利益



連結純利益

(百万円)

